

## 第3回 嬉野市未来技術地域実装協議会

### 議事録

#### 1. 開催概要

日時：令和6年3月25日（月） 13:30～15:30

場所：嬉野市役所 嬉野庁舎 3-1 会議室



会議の様子

#### 2. 議事

(1) PT1：嬉野の魅力为全国・全世界に発信する  
環境づくり事業について

(2) PT2：来訪者の移動を支えるモビリティサービス  
事業について

#### 3. 意見・質疑

(1) PT1 について

##### 嬉野市建設部長

- ・ EC サイトの件。利用者を増やすためにはどのような点が重要か、特効薬はあるか。現時点でアイデアがあれば教えて欲しい。

##### 事務局（協力企業）

- ・ 現時点では、各店舗、各事業者の裁量で実施している。組合全体で EC サイトを構築しているわけではない。
- ・ 湯豆腐振興協議会との意見交換では、1 つしっかりしたものを作成したい意向は確認できている。
- ・ 個別で EC サイトを構築している「井手酒造」様、「うれし庵」様は、同じ EC サイト運営企業を活用していることから同様の EC サイト運営企業を活用した展開をするのも案と考える。
- ・ EC サイトを展開するうえで、未来技術社会実装協議会で構築を進めているプラットフォームをどのように使うのがポイントになってくる。
- ・ また、「企業努力・市場原理」に任せた運営を行うか、「地域づくり、まちづくり」の一環として地域の盛り上げ、賑わいづくりのために実施するか、やり方次第で格差がある。
- ・ 観光協会で構築した「嬉野商店」という既存 EC サイト環境が存在するが、管理・運営ができていない。
- ・ 現状では、EC サイト内で商品が売られているが、購入・決済までたどり着けない状況となっている。
- ・ 「嬉野商店」を復活させるか、誰が運営するかを決定する必要がある。管理・運営に誰が参加するのか早々に検討、実施する必要がある。実践を通じて初めて各組合・団体が追随する形となる。次年度、商店街と議論の上で構築したい。

##### 議長（嬉野市長）

- ・ 以前、石川県小松市、野々市市で、釜炒り茶を生産者と一緒に災害復旧の恩返し、嬉野の PR のため訪問した。その際、嬉野茶の直売を行った際、即売り切れてしまい、買い物客から「通販はないのか？」という問い合わせがあっ

た。

- ・ 嬉野を PR する際、紹介できるサイト、チラシがないため、即誘導できる EC サイトがあれば地場製品の販売促進に繋がるのではないかと感じた。
- ・ 「魅力発信」だけでなく、実際に購入に繋がる「販売促進」までできる環境が必要である。
- ・ 「ゴール（地場製品の購入・経済効果）」まで「パス（情報発信、購入環境の整備、販売促進策など）」を繋げる仕組みの構築が必要である。
- ・ 現時点では「パス」に繋がる環境が一部構築できたが、「ゴール（購入）」まで繋がっていない。
- ・ 既に佐賀県の EC サイトもある。事業者にとって一番優位な形を作る必要がある。
- ・ 「オール佐賀」への誘導が良いのか、大手 EC サイトに誘導するのが良いのか、「嬉野商店」を復活するのが良いのか、現時点では地場製品の購入機会損失となっている。地場製品の購入機会を提供のため、必要に応じてサイト更新が必要なのではないか。

### 事務局（協力企業）

- ・ 「嬉野商店」については、誰が管理・運営しているかわからない状況になっている。
- ・ 「嬉野商店」の事業を本事業で引き取り、継承していく部分を実装していくか、検討していく。

### 嬉野温泉旅館組合

- ・ 観光需要が増加と同様、日帰り入浴需要が増加している。「今、入浴できる温泉はあるか？」という問い合わせが多い。LINE を活用した温泉入浴可否情報をリアルタイムで情報配信できると良い。
- ・ LINE を活用したプッシュ型のリアルタイム情報配信ではなく、ユーザーがアクセスして登録・確認できる仕組みが良い。
- ・ 嬉野温泉旅館組合で確認・把握することが難しい。アンケートでの確認は手間、面倒となるため、温泉宿の協力により LINE 上でリアルタイムでの情報配信が良い。通常業務ではパンフレットのみとなるため。

### 事務局（協力企業）

- ・ LINE 上での入浴リアルタイム情報の提供、配信について良いアイデアであると考え。検討していく。

### 議長（嬉野市長）

- ・ （温泉入浴可否、混雑状況のリアルタイム情報配信について）大事なこと。
- ・ 各温泉旅館事業者へ確認を取るのには現実的ではない。定休日、臨時点検などもあるため、リアルタイムでの情報配信、更新は大事である。
- ・ 既存サイトから情報を拾う仕組みがあると良いのではないかと。毎日更新する必要はないが、こまめに更新を促す必要があるのではないかと。

### 嬉野市商工会

- ・ 観光協会ベースで検討を進めるのか。検討にあたっては嬉野市商工会・青年部を活用して欲しい。
- ・ 嬉野市商工会に実務班を入れて欲しい。特に若手人材を入れていく。IT 力のある人を入れて欲しい。
- ・ コロナ収束後、観光需要が高まっており、宿泊費が高騰している。また、旅館など受入側の人手不足のため、30 人から 40 人で食事する場所がない。5 年、10 年前の嬉野温泉街のイメージと異なる状態となっている。

- ・ 人手不足に伴い、安価で稼働率を上げる収益モデルから、観光需要に合わせた料金設定を行い、稼働率を下げ、客単価を上げる収益モデルに転換してきている。
- ・ これまでは大手エージェントを介して、料金、金額設定されていたが、大手エージェントに頼らない経営に転換し、観光需要、需給バランスが大きく変わったのではないかと考えられる。
- ・ 首都圏、都市部では、一泊 500 万円の施設があり、地価及び建設資材、技術者の人件費高騰に伴い、宿泊施設建設、改築する坪単価が高く、一泊あたり高額の宿泊費を設定しないと経営が成り立たない状況になっている。
- ・ 観光需要の変化、宿泊費の現状などの情報提供を行うのも良いのではないかと。

#### 議長（嬉野市長）

- ・ （旅館経営を通じて、勤務されている）市民生活を豊かにするため、適正価格、価格転嫁を行っている。
- ・ 現状では、温泉旅館も設備投資、サービスの高付加価値化に見合う投資をしていることも理解する必要がある。
- ・ 各温泉旅館の取り組みにスポットを当てた情報配信も良いのではないかと。

#### 議長（嬉野市長）

- ・ その他意見がなければ、本年度の事業成果、来年度の「嬉野の魅力を全国・全世界に発信する環境づくり事業計画について（PT1）」承認確認を行う。承認される方は、挙手をお願いしたい。

#### 各委員

- ・ （全員挙手）

#### 議長（嬉野市長）

- ・ 委員全員挙手のため、来年度の（PT1）事業計画について承認された。

## （2）PT2について

#### 嬉野市建設部長

- ・ 自動運転車両を活用し高付加価値化するためにはどのようなアイデアがあるか。
- ・ 移動手段の提供だけでは、運営は難しいのではないかと。現時点でのアイデアがあれば教えて欲しい。

#### 事務局（協力企業）

- ・ 自動運転車両を活用した高付加価値サービスの提供は考えていく必要がある。
- ・ 地域との意見交換を通して様々なアイデアをもらっている。現時点で、具体的なアイデアはないが、地場産品、地域資源を生かしたサービスと旅行商品としてパッケージ化していくことは考えられる。
- ・ 運賃の取り方は、宿泊費と自動運転車両利用のセット料金。嬉野温泉旅館宿泊時は自動運転車両乗り放題がセットになっているなどは可能であると確認している。
- ・ 運賃の取り方、商品化、販売促進の仕方・方法が運営、運行する上で大事なポイントになると考えている。

#### 国土交通省九州地方整備局

- ・ 無償運行への見直しと記載しているが、次年度の実証実験で需要最大を、見込んでいるが、将来の実現性はある

のか？定時運行ではなくオンデマンド運行の方が効率的だと思うが。オンデマンド運行の可能性はあるのか。

#### **事務局（協力企業）**

- ・ 現時点でオンデマンド運行は検討していない。可能性としてはあると思う。
- ・ 定時定路線が現実的であり、需要確認したうえでオンデマンド的な運行を考える形となる。

#### **国土交通省九州地方整備局**

- ・ 実証実験での運行は難しいと思う。今後、効率的な運行、リアルタイムのオンデマンドも必要ではないか？視野に入れてはどうか？という意味での意見だった。

#### **事務局（協力企業）**

- ・ 利用需要が減少した時点で、オンデマンド運行を考えていく必要がある。まずは定時運行ができないか確認したい。
- ・ 嬉野市への交流人口が増加している。人口減少ということで利用者減を前提とするのではなく、利用者が今後増えることを前提とした検討が良いと考えている。そのうえで付加価値を付けていく。商店街と連携するなど、価値の創造を検討しているところ。PT 1 との連携を目指していきたいと考えている。

#### **国土交通省九州地方整備局**

- ・ 運賃設定の工夫は必須。事前予約制や定時運行する場合、柔軟な料金設定を行えることが重要。
- ・ 東京の事例では無料で行っている。無料バスが地域の価値になるのであれば無料でも良いのか。無料で運行できるかどうか検討する必要がある。

#### **議長（嬉野市長）**

- ・ 運賃をもらった形で運行した方が良いと考えていた。ただ、最大利用需要を把握する、知った上で有償運行するのが良いのではないかと感じている。
- ・ 首都圏・都市圏では、企業協賛しているケースがある。本市においても車両のラッピングなど企業広告、車内で情報提供、各種サービス提供を充実することで運賃外収入を得るなどの工夫が必要である。
- ・ 最大需要を確認したうえでルートを確認していくことが大事だと考えている。今後検討して欲しい。

#### **嬉野市商工会**

- ・ 以前、タクシー事業者で現状の事業経営についてヒアリングを行ったことがある。
- ・ 本音では、午前中に高齢者を病院に送迎し、その後日中は商業施設へ買い物送迎し、自宅へ帰るという行動になる。そのため、高齢者の送迎を行うことで多忙となっている。
- ・ 嬉野市の場合、拠点（駅、バスセンター、嬉野インター）があるため、タクシー運行・配車が難しく、事業者は苦勞している。
- ・ TV などメディアでは、日本 TAXI がニセコへ運転手派遣をする実証を行っている報道が出ていた。実証実験ではうまくいっていると聞いている。パートタイマーの運転手などを活用し、事業を回したと聞いている。
- ・ 本市の三大美肌の湯の1つである嬉野温泉もニセコ、パウダースノーに匹敵するのではないかと。大手タクシー事業者を誘致し、嬉野市でも実施できないのか。
- ・ その他、ライドシェアというサービスも徐々に出てきている。佐賀県内の既存 TAXI によるライドシェアも良いと思うが、

厳しく規制され、事業実施にあたってはリスクを感じる。

**事務局（協力企業）**

- ・ 他の地域のタクシー事業が来ることが良いことなのか。

**嬉野市商工会**

- ・ 日本 TAXI など大手事業者であればできるのではないか。

**事務局（協力企業）**

- ・ タクシー事業者を確認し、事業性について深掘り検討を行う。

**議長（嬉野市長）**

- ・ その他意見がなければ、本年度の事業成果、来年度の「来訪者の移動を支えるモビリティサービス事業計画について（PT2）」承認確認を行う。承認される方は、挙手をお願いしたい。

**各委員**

- ・ （過半数挙手）

**議長（嬉野市長）**

- ・ 委員の過半数挙手のため、来年度の（PT2）事業計画について承認された。

**議長（嬉野市長）**

- ・ 全ての議事が終了したため、司会進行を事務局へ返す。

**事務局（協力企業）**

- ・ その他ご意見はあるか。

**各委員**

- ・ （意見なし）

**事務局（協力企業）**

- ・ 次第通り、閉会する。
- ・ 様々な意見交換が行え、今後の事業展開の糧になるのではないかと思う。
- ・ 嬉野市の発展に向け、事業を進めていく。これ持って協議会を終了する。

以上